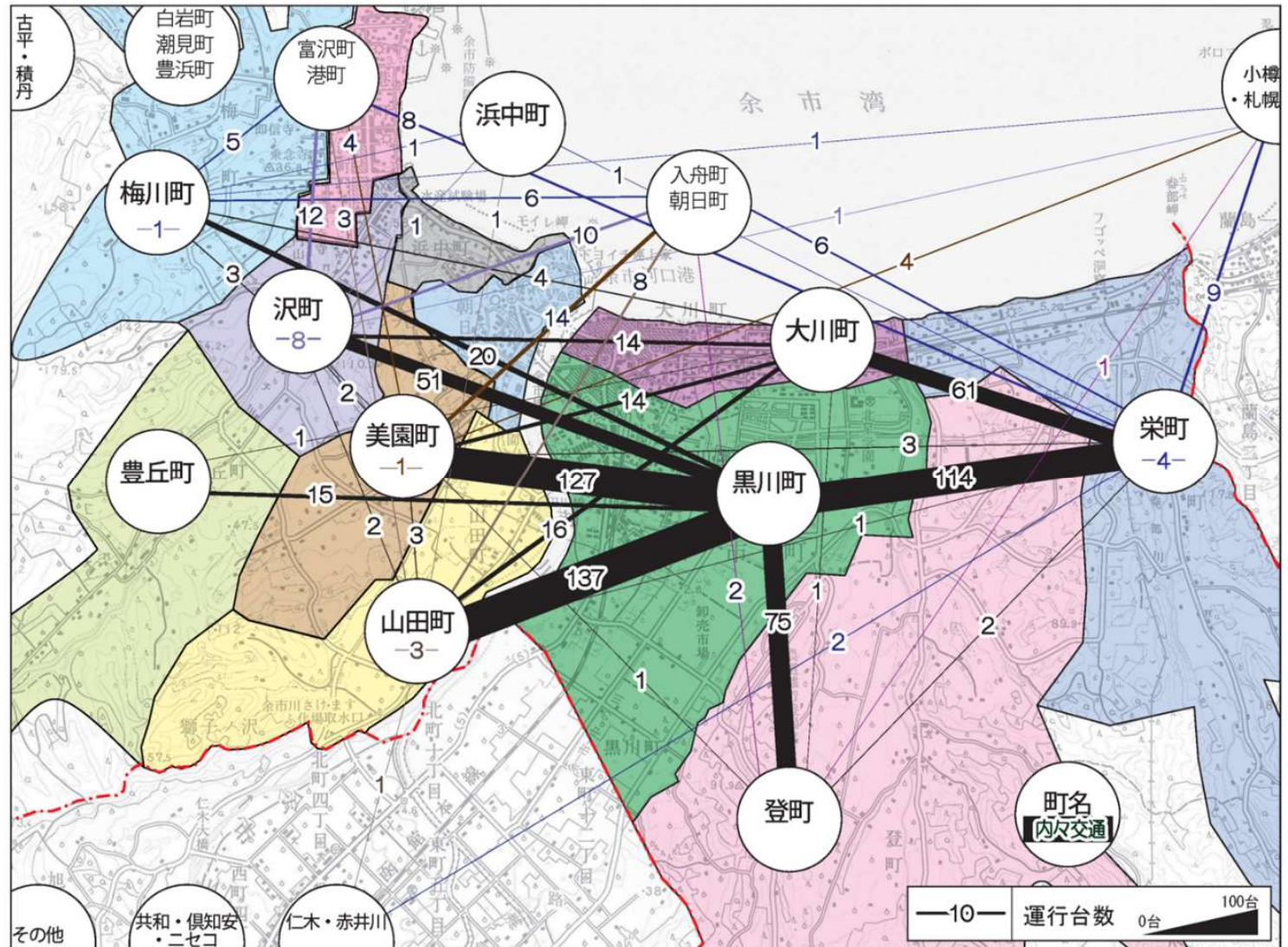


郊外部ハイヤー・タクシー利用実態調査集計

調査日時：平成30年9月18日（火）～9月24日（月・祝日）

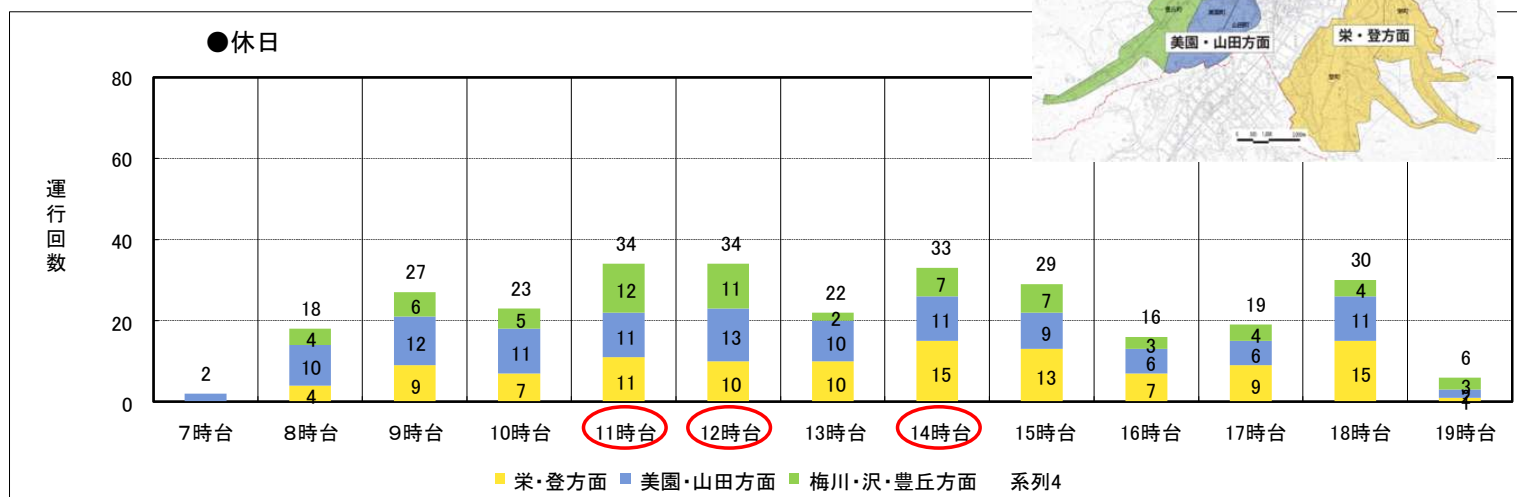
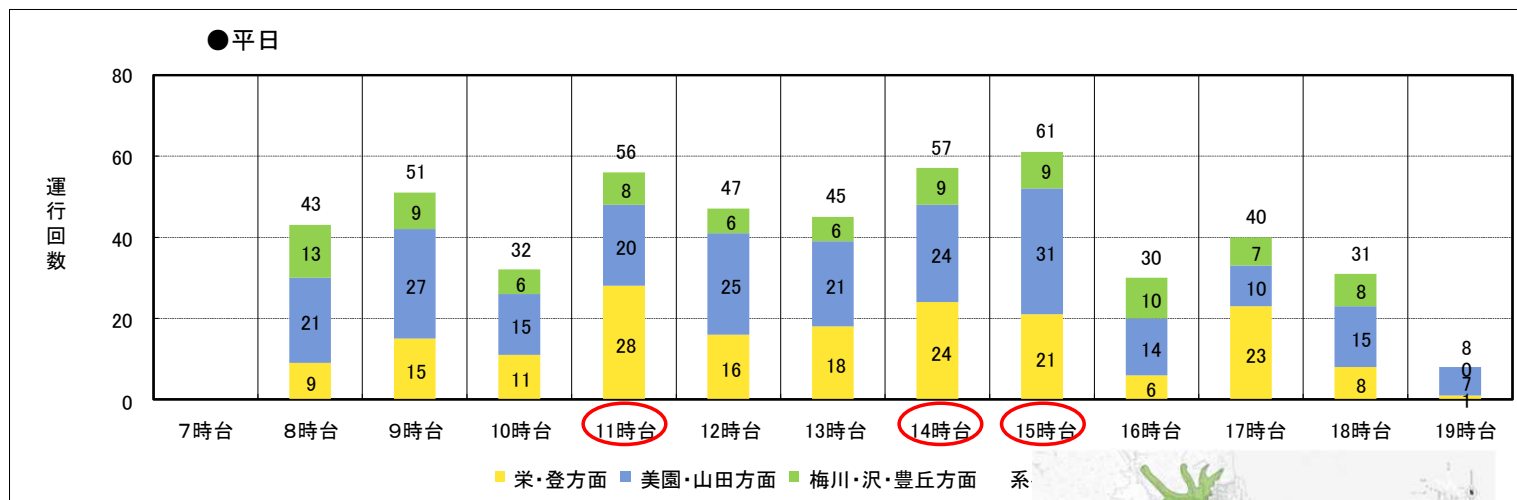
郊外タクシー交通分布

- 山田町～黒川町間の利用が137台と最も多く、続いて美園町～黒川町が127台、栄町～黒川町が114台となっている
- 方面別割合では、美園・山田方面～黒川町間が49%、続いて栄・登方面～黒川町間が35%、梅川・沢・豊丘方面が16%となっており、距離が短い(運賃が安い)と考えられる美園・山田方面からの利用が半数程度を占める



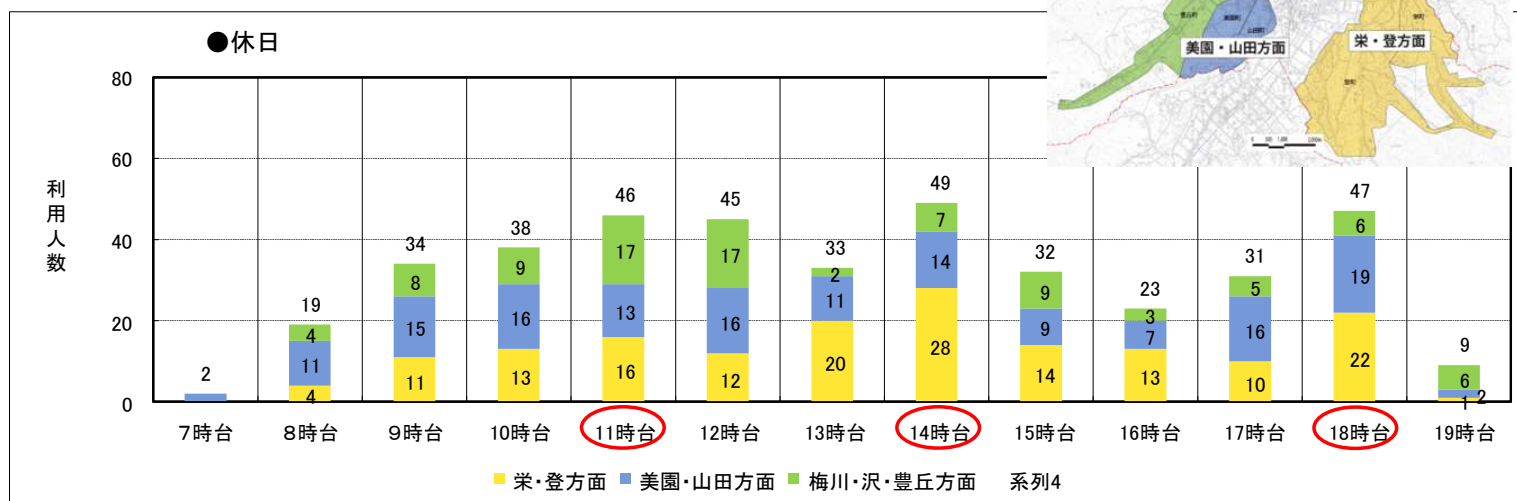
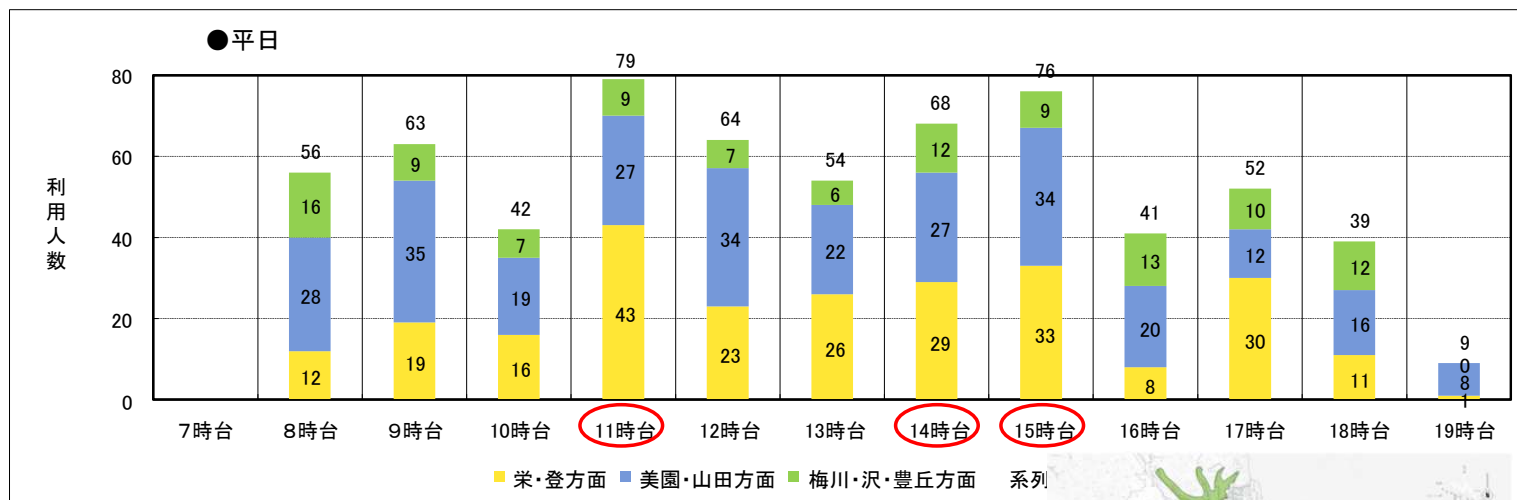
方面別・時間帯別運行回数

- 郊外部の各方面別の運行回数を集計したところ、平日は「15時台」が61台と最も多く、続いて「11時台」が57台、「14時台」が56台となっており、昼の時間帯の利用が多くなっている
- 休日は、「11時台」「12時台」が共に34台と最も多く、続いて「14時台」が33台となっている
- 昼の時間帯以外では、午前では平日・休日共に「9時台」が多く、午後は、平日は「17時台」、休日は「18時台」が多くなっている
- 休日は、平日と比較して、各時間帯に分散している傾向がある



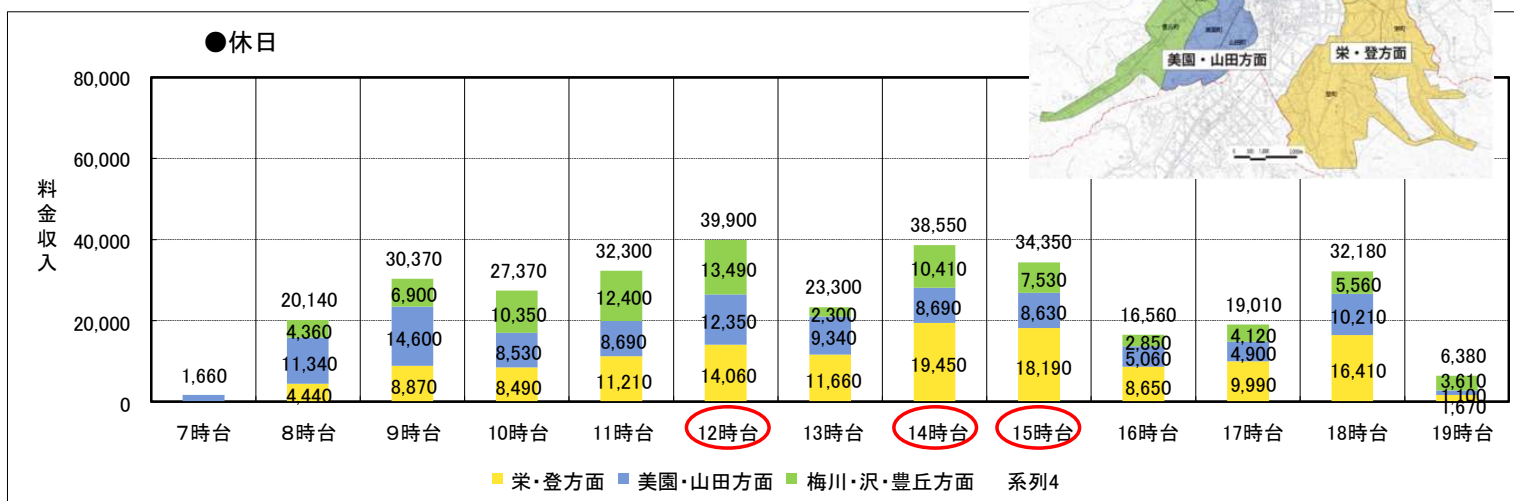
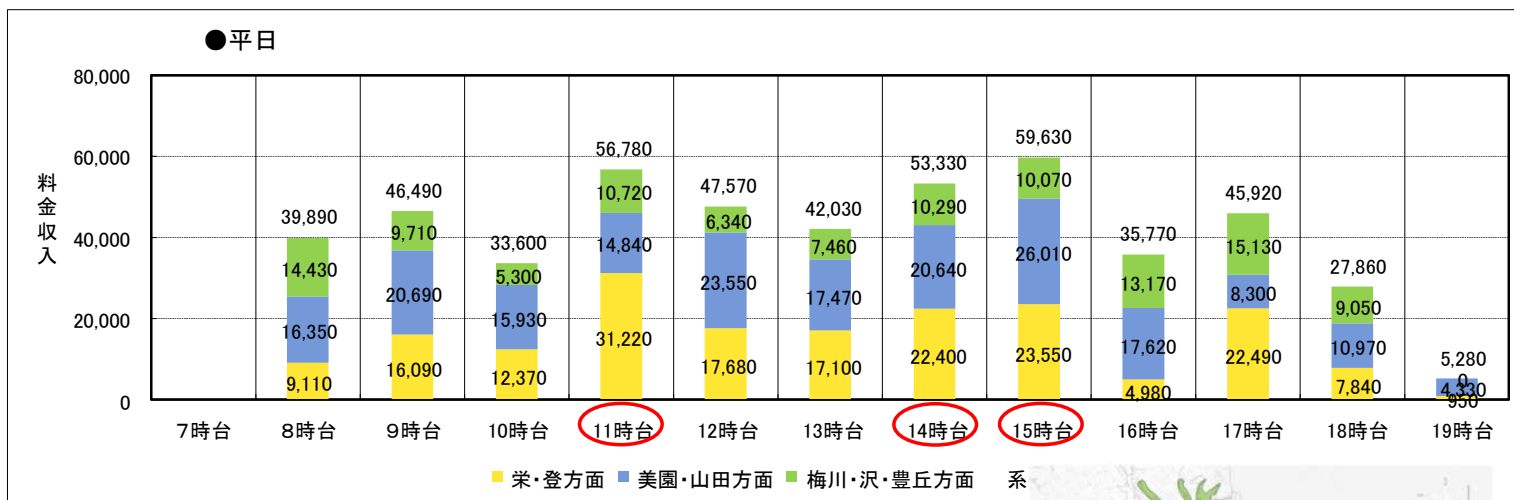
方面別・時間帯別利用人数

- 郊外部の各方面別の利用人数を集計したところ、平日は「11時台」が79人と最も多く、続いて「15時台」が76人、「14時台」が68人となっており、昼の時間帯の利用が多くなっている
- 休日は、「14時台」が49人と最も多く、続いて「18時台」が47人、「11時台」が46人となっている
- 昼の時間帯以外では、午前では平日で「9時台」が最も多く、休日は「10時台」が最も多い、午後は、平日は「17時台」、休日は「18時台」が多くなっている
- 休日は、平日と比較して、各時間帯に分散している傾向がある



方面別・時間帯別料金収入

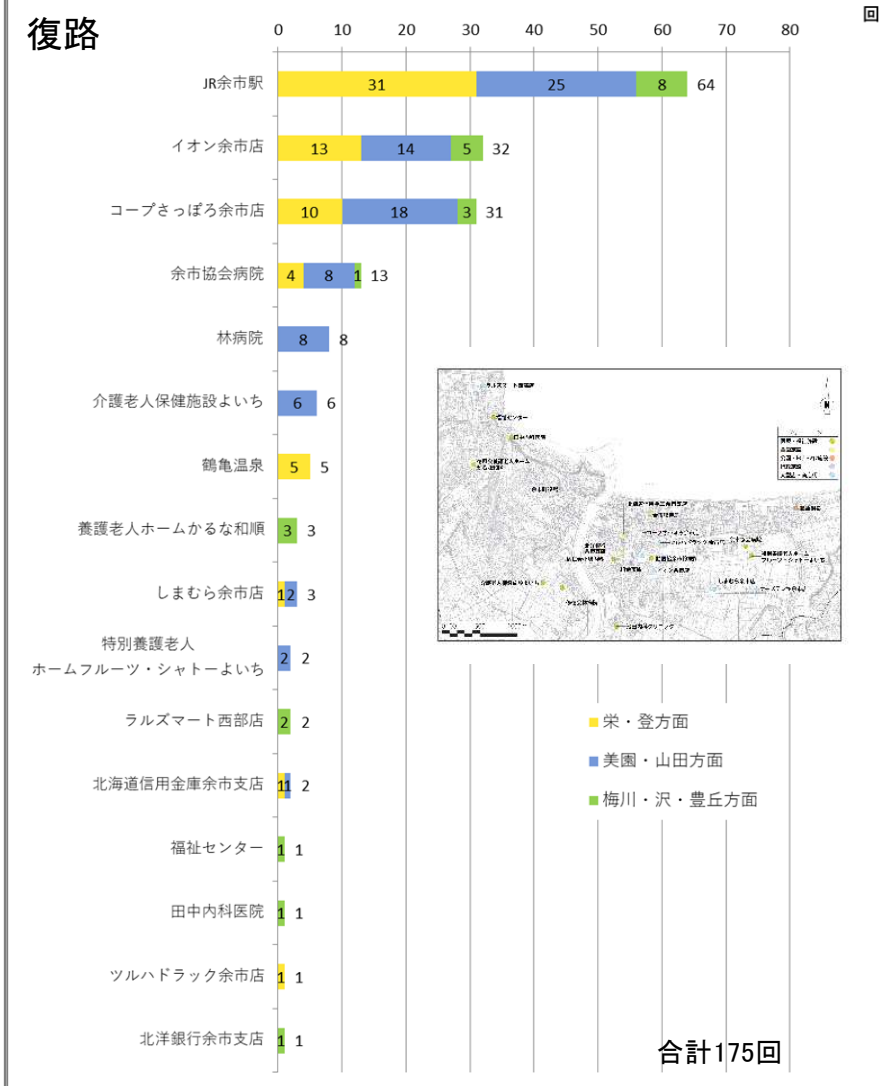
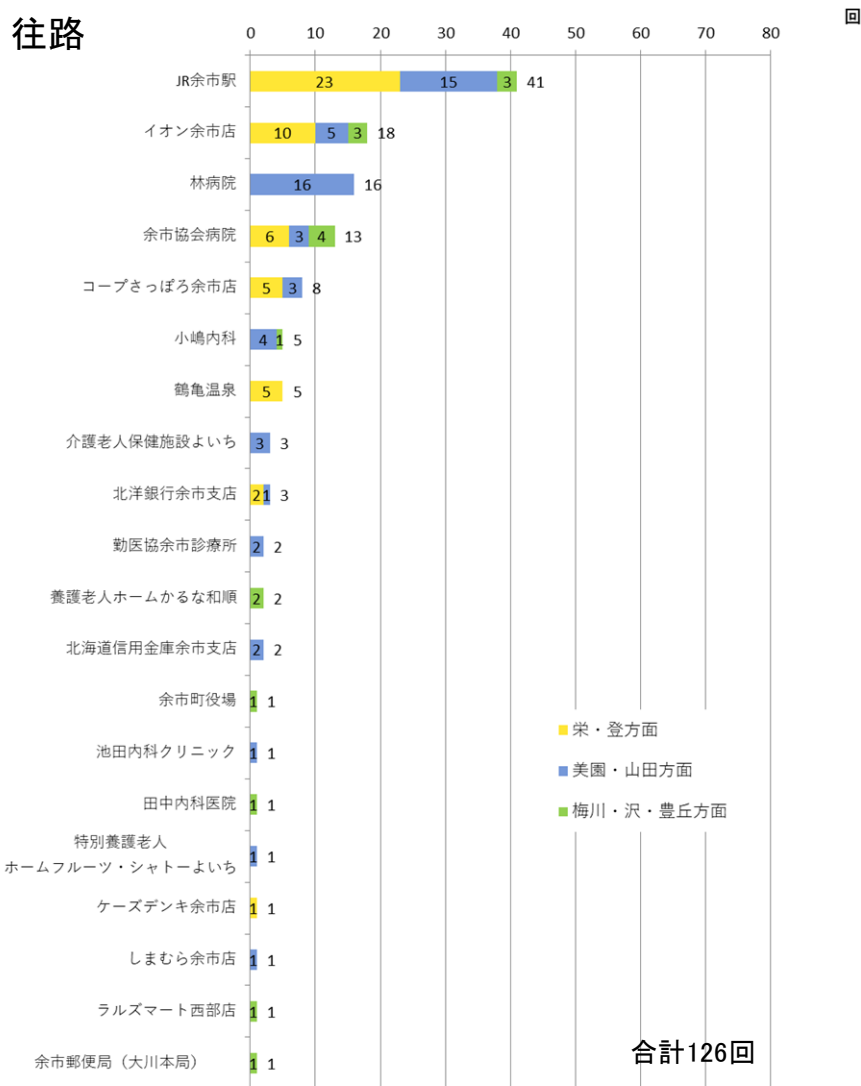
- 郊外部の各方面の料金収入を時間帯毎に集計したところ、平日は「15時台」が59,630円と最も多く、続いて「11時台」が56,780円、「14時台」が53,330円となっており、昼の時間帯の利用が多くなっている
- 休日は、「12時台」が39,900円と最も多く、続いて「14時台」が38,550円、「15時台」が34,350円となっている
- 昼の時間帯以外では、午前では平日・休日共に「9時台」が多く、午後は、平日は「17時台」、休日は「18時台」が多くなっている
- 新交通の運行時間を「混雑する時間」に運行し、交通需要を分散し円滑化するか、「利用の少ない時間帯」に運行し需要喚起を図るか、方策の検討が必要となる



公共・公益施設へのアクセス回数

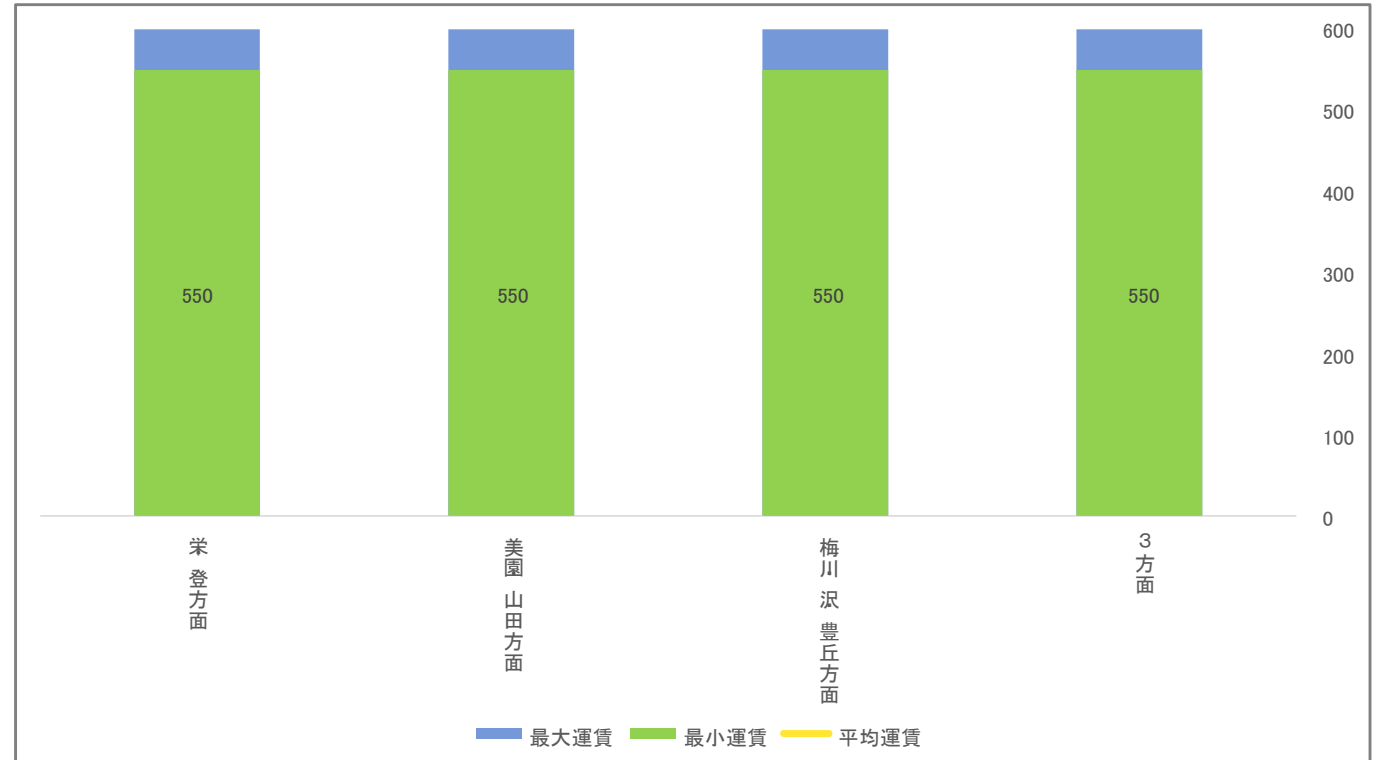
- 郊外部の公共・公益施設へのアクセス回数は、「JR余市駅」が最も多く、往路では41回、復路では64回となっている、次いで「イオン余市店」が、往路では18回、復路では32回となっている、続いて往路では「林病院」が16回、復路では「コープさっぽろ余市店」が31回と多い

- アクセス回数の合計は復路の方が175回と、往路の126回より多いことから、往路では、公共交通機関を使用し、復路では、買い物等による荷物が増えるため、待たずに利用できるタクシーを利用していることが考えられる



方面別料金収入の分布

- 郊外部の各方面別の料金収入の最大・最小・平均値を集計したところ、「梅川・沢・豊丘方面」が最大で2,950円、平均で1,170円と最も高く、続いて、「栄・登方面」が最大で2,870円、平均で1,077円となっている、最も低いのは「美園・山田方面」で最大で2,070円、平均で822円となっている
- 施設が集中している市街地との距離的なアクセス性が低い地域において、料金収入が高い傾向にあると考えられる
- 新交通の料金設定を、平均より下の最低値550円に近い設定をし、需要喚起を図るなど、検討が必要となる



※割引料金(110円)を除く

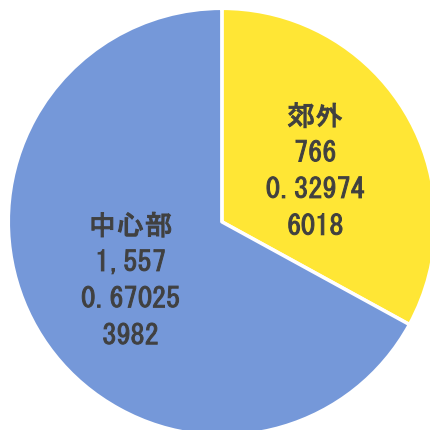


市街地・郊外の タクシー利用比較

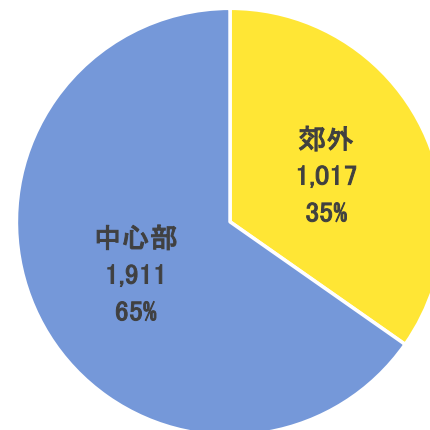
運行回数・利用人数・料金収入について、市街地全体に対する郊外部の比率を集計した結果、人口の比率28%に対し、各項目において郊外の比率が高い傾向を示している

- 郊外において、運行回数・利用人数・料金収入の各項目の中では、料金収入の比率が最も高く、40%となっている
- 郊外部の収益率が高いため、新交通の検討にあたり、タクシー事業への影響を考慮し、潜在需要の掘り起こしを考慮した運行内容とする必要がある

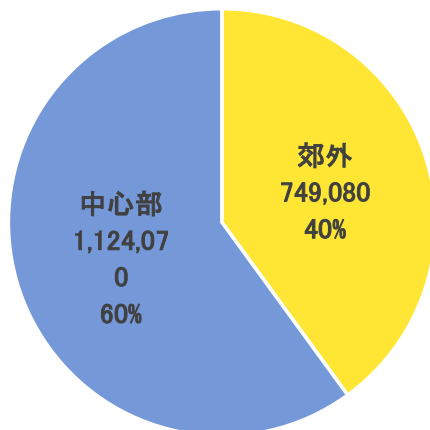
運行回数



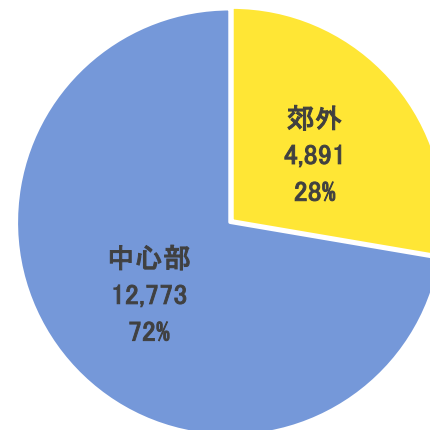
利用人数



料金収入



人口



住民基本台帳(2022年3月31日)